

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No.11

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台2-14-7

☎090-7275-9890

2016, 10, 30

第11回活動「海の生き物」

「こんな寒い日に、なんで？」と、参加者は少なかったのですが、収穫はたくさんありました。2月のイメージができました。

1, 日 時: 2016年10月30(日) 全日

2, 天 気: 晴れ→曇り

気 温 10, 0℃

海水温度 15, 6℃

砂地温度 16, 1℃

3, 交 通: 現地集合

京成船橋駅前発 9:20

着 9:40

..... 帰発 14:10

料金 大人240円

4. 場 所: ○ふなばし三番瀬海浜公園

干潮 10:36

5, 講 師: 春日 伸雄(としのう塾長)

6, 参加者: 総数 6人

内訳 家族2 大人 2

小学生 2

スタッフ 2

7, 活動の様子

○ まずは、潮干狩り

いるいる! たくさんの人たちが大きなクーラーボックスや熊手を持って、一心不乱に貝を漁っている。「な~んだ、うちらだけじゃないんだ。こんな寒い日に、誰もいないと思ったのに・・・」と、つぶやきが聞こえてくる。どんどん潮が引いていく。砂を掘ると、「ガリガリ」と貝をこする音がする。小粒だけれど、どこを掘ってもアサリが出てくる。4月からの潮干狩りの頃には大きく育っているのだろう。

○ バードウォッチング

いるいる! たくさんのお水鳥が浅瀬に降りてくる。カモメ・ユリカモメ・ソリハシギ・トウネン・ハマシギ・ミヤコドリ・ダイサギ等々、エサを探している鳥・飛んでいる鳥などがごっそりいる。すごい!!

貝採りには目もくれないバーダーは、大きなカメラをかまえている。

- 昼食は、砂浜で
草の生えて砂浜で、一列に並んで、みんな海を見ながらの昼食。いい風景だ！野鳥が飛び交う中、貝を採る人・双眼鏡を構える人。少しずつ潮が満ちてくる。その向こうには、東京湾を航行する大きい船・小さい舟、早い船・ゆっくり進む舟、大きなコンテナ船も通った。
- 貝拾い
岸边や水たまりで、貝を拾ったり生き物をさがしたり。「棒きれかな？」と思って手を伸ばすと「サッ」と逃げる沙魚のような魚。貝が動いている！ヤドカリだった。
家にもちかえった貝を、黒く大きな植木皿に空ける。よく見ると、動いている生き物がたくさんいる。ヤドカリ・カニ・プランクトン……。じっと見ていると、まるでスキューバーダイビングしているようだった。
- アサリの砂吐かし
早速、アサリの砂吐かしにとりかかる。まずは、アサリをゴシゴシと水洗い。貝についているぬめりを落とす。それから、平らな容器にアサリを並べ、ペットボトルの海水を入れる。すると、すぐに吸出管が伸びてくる。
夕飯のおかずは、もちろん、アサリをたっぷり入れた白菜蒸だ。が、女房に、「こんな小さいアサリを採ってきて・・・、自然保護だとかなんとか言っているくせに・・・。」と、小言を言われてしまった。
残りを冷凍保存することに気づき、小分けにして、冷凍した。
後に、みそ汁の具にアサリを使うと、簡単・美味で、女房の評判はすこぶる良くなった。「今度は、これネ！」という。2月の潮干狩りを、もう当てにしているのだった。
- 2月の活動は・・・
もう決まりだ。
①テントを持参し、基地とする。
②アサリ採りをして、バードウォッチングもする。
③浅い皿に海の生き物をいれ、ミニプールにして観察する。
④ホットワインで体を温めながら、東京湾の船を眺める。
いまから、楽しみだ！

8、親と子の、いきいき感想

- 今日は、貝さがしに行きました。ヤドカリもいました。
たくさん出てきました。楽しかったです。
五色桜小3年
- 色々な貝がいて、ひとりひとり楽しみがあって、よかったです。
貝たくさん だけど寒くて 水はやだ
鹿浜第一小6年
- びっくりするほど（小粒だけど）たくさんアサリが採れました。
鳥も、たくさんウォッチングできました。
アサリとれ 夕飯決まり 楽しみだ